

〔 適用 〕 本標準図は準鉄骨造の建築物、工造物、その他の構造物に適用する。但し、鉄骨鉄筋コンクリート造の構造物の鉄骨部分には柱・梁・梁口、部材継手等の各部詳細図を特記することにより本標準図を準用する。

〔 優先順位 〕 設計図に記載された図面及び事項は、本標準図に優先し適用する。設計図に記載なき図面及び事項は本標準図を適用する。

1. 一般概要

〔 建物概要 〕

工事名称 矢岳第2 牧場肥育舎新築工事
 工事場所 熊本県鹿耳郡相良村大字川辺字中高原80-83他
 階 地下 1 階 地上 1 階 塔屋 階
 工事種別 新築 増築 改築 用途変更
 増築予定 有 無
 屋上付屋物 高置水槽 広告塔 キュービクル
煙突
 特殊荷重 エレベーター リフト クレーン
ホイスト

〔 構造設計条件 〕

計算ルートの X 方向 ルート1-2 ルート2
ルート3 告示による
 Y 方向 ルート1-2 ルート2
ルート3 告示による

溶接強度 0.9 1.0

〔 構造設計者 〕 住所 鹿児島県出水市大野原町272番地
 事務所・氏名 株式会社 西野設計 西野正憲
 電話・ファックス 0996-63-3016 FAX 0996-62-4029

2. 使用材料

(1) コンクリート (特記なき場合はすべてSD295規格品とする)

適用場所	種 類	設計強度	スランプ	混和剤
捨コンクリート	普通	$FC 10$	10	<input type="checkbox"/> AE減水剤
	土間	$FC 18$	18	<input type="checkbox"/> AE減水剤
基礎・地中梁	普通	$FC 18$	18	<input type="checkbox"/> AE減水剤
	普通	$FC 18$	18	<input type="checkbox"/> AE減水剤
床	普通	$FC 18$	18	<input type="checkbox"/> AE減水剤
	普通	$FC 20$	20	<input type="checkbox"/> AE減水剤
杭	普通	$FC 20$	20	<input type="checkbox"/> AE減水剤
	普通	$FC 20$	20	<input type="checkbox"/> AE減水剤

(2) 鉄筋 (特記なき場合は全てSD295規格品とする)

種 類	材 料	径	使用箇所
異形鉄筋	$SD295A$	$D10 \sim D16$	土間・基礎
	$SD345$	$D19 \sim D25$	基礎
普通鉄筋	$SR235$	$\phi \sim \phi$	
溶接金網			

(3) 鋼材 (特記なき場合は全てSS400及び同種の規格品とする)

材 種	使用箇所	備 考
SS400	梁	
STK400		
STKR400		
SSC400		
NS490C		
SCR295	柱	

- (4) ボルト類 特記なき高力ボルト、アンカーボルトは下記規格品とする。
- 高力ボルト F 8 T 特殊高力ボルト
- アンカーボルト S S 4 0 0 ダブルナット
 (径・長さおよび本数は特記による)
- スタッドボルト 特記による
 (径・長さおよび本数は特記による)
- デッキプレート 合成床 一般床
 (形式は特記による)

- (5) コンクリートブロック 特記なき場合はA種厚さ100とする。
 種類 A種 B種 C種
 厚さ 100 120 150 190
- (6) その他

3. 地 業

(1) 直接基礎 深さ $GL - 1.10 m$ 支持層 粘度質地盤
 長期許容地耐力 $100-110 KN/m^2$

(2) 杭基礎 試験杭・本 (図示による)
 杭先端 $GL -$ m 支持層
 杭長 $...$ m 継手 $...$ ケ所

杭 種	材 種	材 種			
<input type="checkbox"/> 既製杭	<input type="checkbox"/> PHC	<input type="checkbox"/> 打込工法 <input type="checkbox"/> セメントミルク注入工法 <input type="checkbox"/> 認定工法			
		上杭 . m <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C			
		中杭 . m <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C			
下杭 . m <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C					
<input type="checkbox"/> 現場造成杭	鋼 杭	材種 <input checked="" type="checkbox"/> S S 4 0 0 <input type="checkbox"/>			
		2. 使用材料による <input type="checkbox"/> オールケーシング工法 <input type="checkbox"/> アースドリル工法 <input type="checkbox"/> アースドリル杭造工法 <input type="checkbox"/> ミニアース工法 <input type="checkbox"/> B.H.工法 <input type="checkbox"/> 深層工法			
杭 径	長期耐力 (N/本)	本 数	杭 径	長期耐力 (N/本)	本 数

4. 鉄筋の加工継手及び定着

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状 (補筋筋の余長はすべて4d以上)

折曲げ角度	180°	135°	90°
鉄筋の余長	4 d 以上	6 d 以上	8 d 以上 (※4 d 以上)
曲げ内径 R は	-----SD 295, SD 345は4 d 以上		
※片持スラブ上部筋の先端			

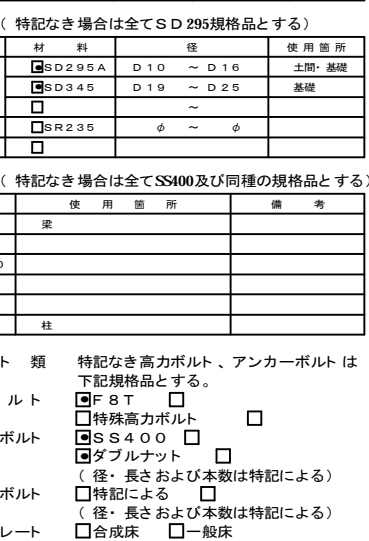
(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 (鉄筋の折曲げ角度90°以下)

使用箇所	鉄筋径d	鉄筋の種類	曲げ内径R
a) 帯筋	各種	SD395, SD445	4 d 以上
b) スラブラスライル筋			5 d 以上
帯筋	D16以下		6 d 以上
	D19以上		8 d 以上
c) (a), (b)以外	各種		6 d 以上
の鉄筋	D29以下		8 d 以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ (L _d)		特別の定着及び重ね継手の長さ (L _l)
		一般	スラブ	
SD 295	21以上27以下	35d (25d)	25d	40d (30d)
SD 345	15以上21未満	40d (30d)	15d (15d)	45d (35d)

〔 注 〕 () 内はフック付の場合を示す。



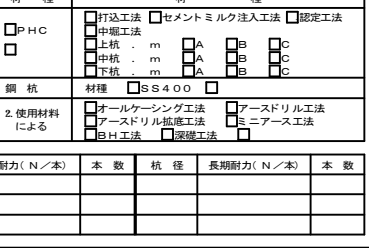
(4) かぶり厚さの最小値

種 用	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
土に接しない部分	土上あり	20	30	40	40	40
土に接する部分	土上あり	30	40	40	40	40
	土上なし	40	50	50	50	50
	土上あり	40	40	40	40	40
	土上なし	50	60	70	70	70

〔 注 〕 ※コンクリートの品質及び施工方法に付し、工事監理者承認を受けたそれぞれ30mm又は40mmとすることができる。

(5) 鉄筋のあき 異形鉄筋のあきは1.5d以上 (鉄筋間隔2.5d以上)
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上

(6) 鉄筋のフック (a-eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける)
 a. あばら筋、帯筋、及び幅止め筋
 b. 煙突の鉄筋
 c. 柱の四隅にある主筋 (下図参照) で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合。
 d. はり主筋の重ね継手が、はりの出隅及び下端の両端 (下図参照) にある場合。(基礎ばりを除く)
 e. 片持ちスラブの上端筋の先端
 f. その他、本配筋標準に記載する箇所



6. 基礎

(1) 基礎の配筋

(a) 直接基礎

(b) 杭基礎

(2) 基礎接合部の補強

(1) 独立基礎、杭基礎の場合

(2) 布基礎、ベタ基礎の場合

(1) 設置可能範囲

(a) 梁端部 (スパン1/10以内かつ2D以内) は避ける。

(b) 孔の径は、はりせい^{1/3}以下とし、孔が円形でない場合はこの外換円とする。

(c) 孔の径が、はりせい^{1/3}以下かつ150mm未満のものは、補強を省略することができる。

(2) 鉄筋形状標準配筋

採用	種別	斜め筋	縦筋	横筋	帯筋	配筋図	備 考
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	なし		
H2	2-2-D13	なし	なし	なし	なし		
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	なし		
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	なし		
H5	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	なし		
H6	4-2-D19	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	なし		
H7	4-2-D22	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	なし		

(3) 既製形 (使用するときは、設計者及び工事監理者と打合せのこと)



8. 鉄骨加工製作

(1) 鉄骨の加工・製作は特記なき限り下記による。
 J A S S 6 (日本建築学会)
 鉄骨工事技術指針 (日本建築学会)
 建築鉄骨工事技術指針 (全日材倶楽部)

(2) 鉄骨製作工場
Hグレード Mグレード以上 Rグレード以上
その他

(3) 設計者又は工事監理者の承認を必要とするもの。
鉄骨製作工場 製作要領書 検査規程書
社内検査書 鋼材規格証明書又は試験成績書
工作図 高力ボルト スタッドボルト
その他 ()

(4) 設計者又は工事監理者が立会う検査
原寸検査 組立・開先検査 溶接部非破壊検査
製品検査 建方検査 その他 ()

(5) 溶接部の検査

	検査率 (%)			備 考
	第三者	社 内	監理者	
超音波深層検査		○	○	
外観目視検査			○	
マクロ検査				
その他				

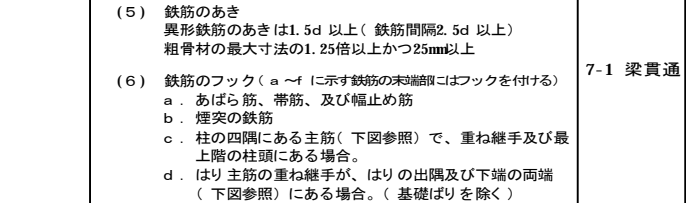
(6) 防錆塗装

1) 防錆塗装の範囲は高力ボルト マサツ接合面、コンクリート埋込み部、加工組立後密閉される部分、その他指示される部分以外とする。

2) 錆止めペイント J I S K
5623 5625 5622 5621

3) 塗装回数 2回塗 1回塗

4) 高力ボルト マサツ接合部 (ボルト 類を含む) および建方時構備部分は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗とする。



8-1 溶接

板厚が異なる場合

脚長 (S) $0 \leq S' \leq S \leq 3s$ S = 設計サイズ S' = 実際サイズ

余量 (e) 18 ± 1 以下

t (t ₁ とt ₂ の小さい方)	6以下	9	12	14	16
S	t	7	9	10	12

※角βのβ、の厚は2t.4t.まで可とする。

エンドタブ
 両端に継手と同じ形状のエンドタブを付ける。
 その長さ(l)は35以上、かつ薄い方の板厚の2倍以上とする。
 フラックスエンドタブ等を使用する場合は、係員の承認を得るものとする。

スカラップ
 R=35を標準とする。

記 号	形 状	適用板厚	寸 法
W ₂		6<t≤12	e 6±2
			r 0~2
W ₃		12<t≤32	a 0±5
			r 0~2
W ₄		6<t≤25	e 0±5
			r 0~2
W ₅		19<t≤32	e 0±5
			r 0~2
W ₆		t≤6	e 5±1
			r 0±5
W ₇			d 2/3(L+T)
			e 0±5
W ₈			r 0~2
			e 0±5
W ₉			a ±1/4, 5
			e 0±5

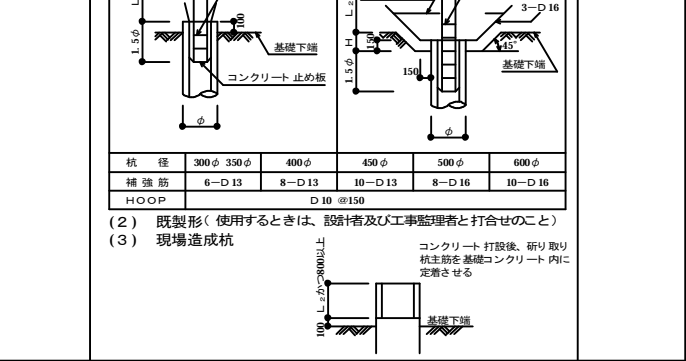
上記は半自動溶接の縦め又は完全溶込みグループ溶接の場合を示す。但し、手溶接及び自動溶接にて施工する場合は、別途指示とする。

8-2 柱 脚

柱脚ピン固定共通事項

- ・コンクリート表面のレイタンス等を取り除いた後、潤滑剤(容れむ)セメント1 : 砂1の塗布をモルタルを塗り塗り仕上げる。
- ・モルタルを塗布する場合は、空気の出来ない様に密に充填する。
- ・アンカーフレームを使用する場合は、設計図書による。

ベースプレート SS400



変更事項

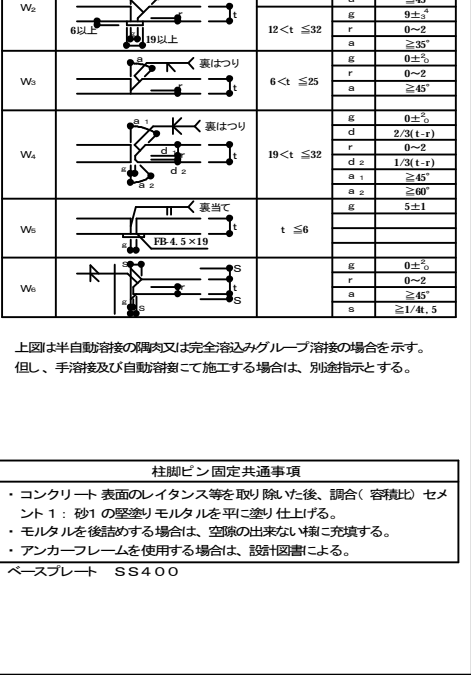
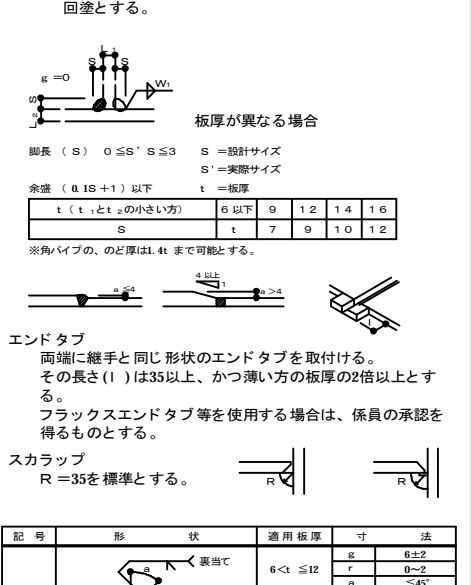
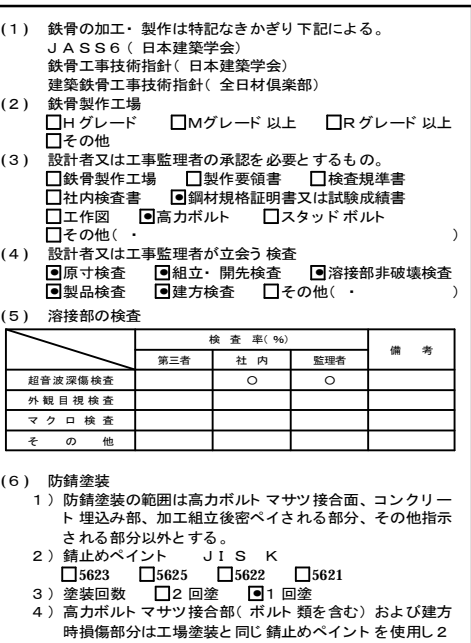
MEMO

株式会社 西野設計

鹿児島県出水市大野原町272番地 TEL0996-63-3016
 知事登録第1-29-120号 一般建築士大臣登録 第189570号

西野正憲

工事名	矢岳第2 牧場肥育舎新築工事	図面番号	B-30	印
図 名	鉄骨工事標準図 その1 (堆肥舎 A棟)	製 図	西野 検 印	
縮 尺			平成30年 7 月 8 日	



変更事項

MEMO

変更事項

MEMO